

年頭のご挨拶

和寒町長 伊藤 昭宣



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで輝かしい平成22年の新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、平素から町政に対する温かいご理解とご協力に感謝申し上げます。

私たちを取り巻く環境は、地球規模の環境問題や急速に進む少子高齢化、未曾有の経済危機など様々な課題が顕在化し、社会の仕組みや枠組みの見直しを迫られる一大変革期を迎えており、その変革の流れが政権交代という結果をもたらしたところであり、本町におきましても限られた財源や資源を有効に活用し「自己決定・自己責任」の原則に基づいた効率的で効果的な行政運営や町民の皆さまの町政への参画など、私たちが一体となって働のまちづくりを進めていくことが強く求められる今日の状況であります。

このような中、町の基幹産業であります農業は、記録的な日照不足や低温、長雨など天候不順による農作物への影響が広がり、水稲、畑作物とも平年作を大きく下回るなど、大変厳しい状況の中、生産者の皆さまの不安を払拭し、再生産への意欲を喚起する目的で「冷害対策緊急支援事業」を発動し支援してまいりました。

一方、商工業は雇用不安からくる消費の低迷や購買力の低下、公共事業の減少など、経営基盤の維持は大変厳しい状況にあります。商工会の皆さんを先頭に町の活性にご尽力をいただき、商業の振興策に創意工夫をされるところにも、観光協会等と連携を図り、各種イベント事業にご協力をいただき、町の元気づくりにご奮闘をいただいていることに感謝申し上げます。町といたしまして引き続き地域経済の低迷に活力を注入するべく、関係機関のご協力のもと、昨年度に引き続き「生活応援緊急対策事業」として「21年度わっさむくらし応援商品券」を発行し、町民の皆さまの暮らしを応援することといたしました。

和寒町は本年、これからのまちづくりに欠かすことの出来ない基本ルールを定めた「自治基本条例」が、4月から施行されますことから、町民、議会、行政が一体となった協働のまちづくりが一層飛躍するものと期待をしております。町民総意で「平和で住み良い 元氣な郷土 和寒町」をさらに発展させることが、私たちに与えられた責務でありますことから、議会と連携を図り、議論を尽くしまして、最大の努力をいたしてまいりますので、これまで以上に倍し皆さま方のご理解とご支援をお願い申し上げます。

希望に満ちて迎えた新年が町民の皆さまにとって限りなく明るい年になりますようにご祈念申し上げ、年頭にあらたにご挨拶いたします。